

## 1 国語に関する調査

### 【特長】

- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、筆者の考えを説明する文章を読み取り、書かれた文章の種類とその特徴について理解することがよくできている。
- ・「情報の扱い方に関する事項」において、情報をどのように整理しているかを読み取り、情報と情報との関係付けの仕方、図等による語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことが比較的できている。

### 【課題】

- ・「書くこと」において、図表やグラフ等を用いて、自分の考えが伝わるように書き方を工夫することに課題がみられる。国語科に限らず様々な学習活動の中で、図表やグラフ等を読み取り、自分なりの思いや考えをわかりやすい文章に書き表す活動を多く取り入れていきたい。
- ・「読むこと」において、目的に応じて、複数の文章と図表等を結び付ける等して必要な情報を見つけることに課題がみられる。書かれている内容の要点をしっかりと捉えながら読み進める活動をさらに充実させていきたい。

## 2 算数に関する調査

### 【特長】

- ・「数と計算」における式の表す意味において、( ) を用いた式や、加法と乗法の混同した式を場面と関連付けて読み取ることが比較的できている。
- ・「データの活用」における二つのグラフの読み取りにおいて、示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフの違いを把握し、言葉と数を用いて記述することができている。

### 【課題】

- ・「変化と関係」において、伴って変わる二つの数量が比例関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさを求めることに課題がみられる。問題場面を正しく捉え、身近にある具体物を用いて割合を正しく捉える力を付けていきたい。
- ・「数と計算」において、(2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に各段階の商の意味を考えることに課題がみられる。筆算の仕方と計算の順序を正しく理解する力を付けていきたい。

### 3 児童質問紙の結果より

#### 【特長】

- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と答えている児童が多い。また、「困っている人がいれば進んで助けたい」と答えている児童も多い。
- ・「読書が好きである」と答えた児童が多い。これは、学校の朝の時間に読書タイムを設定していることにより、日頃から本を読む習慣が身に付いている成果だと考える。

#### 【課題】

- ・「新聞を読んでいる」と答えた児童が少ない。今後、国語等の授業の中で、新聞を取り扱いたいと考えている。
- ・「英語の勉強は好きだし大切だ」と答えている児童は多いが、「授業以外で英語を使う機会は少ない」と答えている児童が多い。朝の時間に英語に触れたり、AETと休み時間に交流したりする等の機会をつくりたいと考えている。

### 授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・朝の金目タイムを活用し、基礎・基本の習熟を図る。主に算数で「数学的な見方・考え方」を働かせたり、計算の力を向上させたりすることを目指し、計画的に教材の準備をしたり、児童の目標別に少人数で学習を進めたりしていく。
- ・話し合いの学習に、ICT 機器を活用する場面を増やしていく。また、ICT 機器の具体的操作方法に関する教職員研修も併せて充実を図っていく。
- ・児童を指導・支援する際には常に複数で対応することを心掛け、必要に応じて迅速に支援チームを立ち上げる等、児童一人ひとりを丁寧に見守っていく。
- ・どんなことがあっても、いじめはいけないことだという認識のもと、お互いの違いを認め合えるクラス環境を構築していく。

### ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・テレビゲームや SNS、動画視聴等、スマートフォンやタブレット端末の使用について、時間や制限、課金等に関する家庭内でのルールをお子様と話し合っ決めて、ルールを守った生活ができるよう、声かけをお願いいたします。
- ・学校から出される宿題も含め、家庭学習の充実が図れるよう、お子様への声かけや支援をお願いいたします。
- ・地域の行事等に参加し、人の役に立つ経験や人と意見交換する経験をしてほしいと思います。お子様が、地域の一員としての意識を高められるように、ご協力をお願いいたします。